

デジ絵制作

番外編

快適化計画

Intuos 3 Custom



作 SATOTOMO

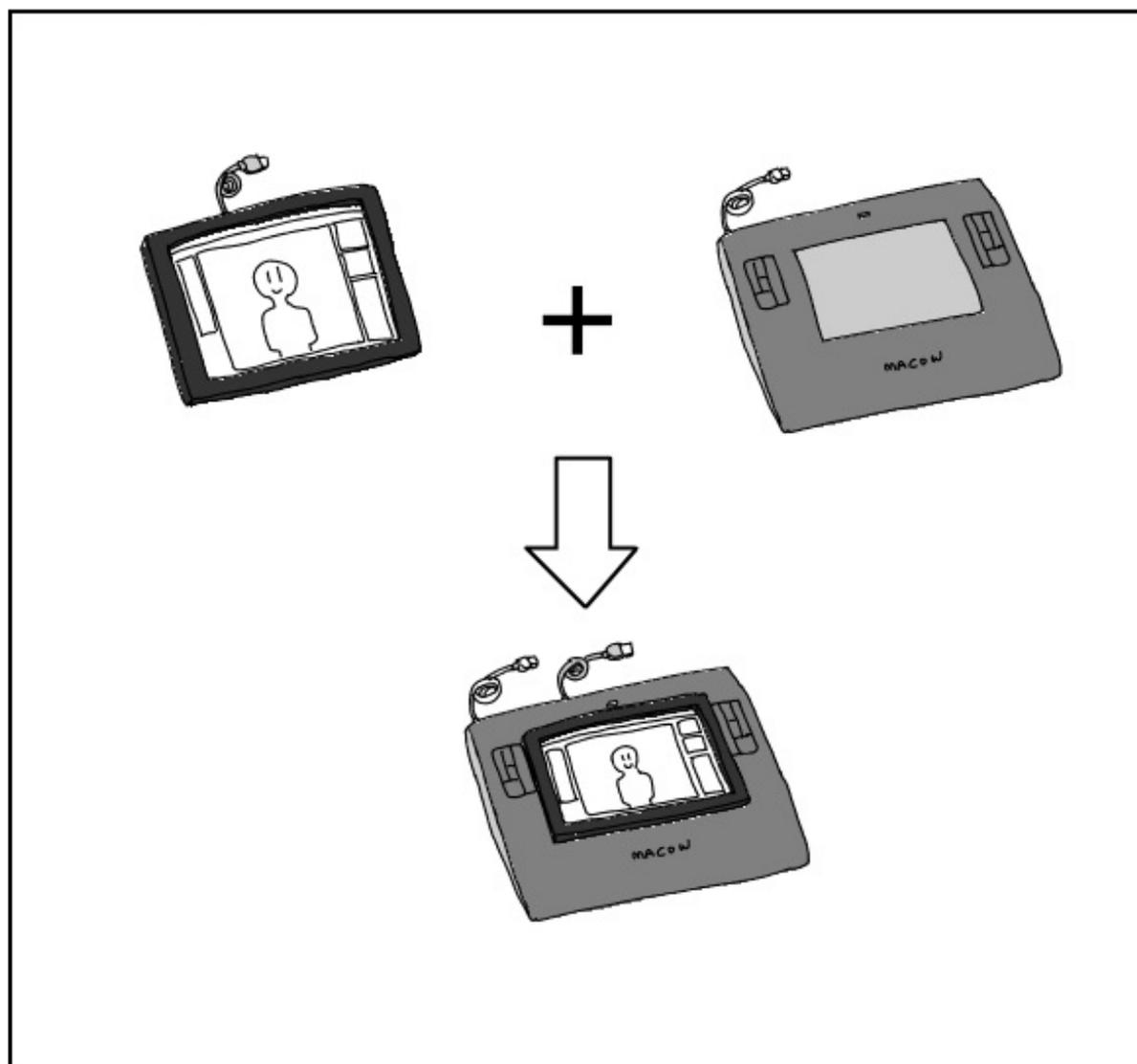
デジ絵制作 **番外編**
快適化計画

Intuos 3 Custom



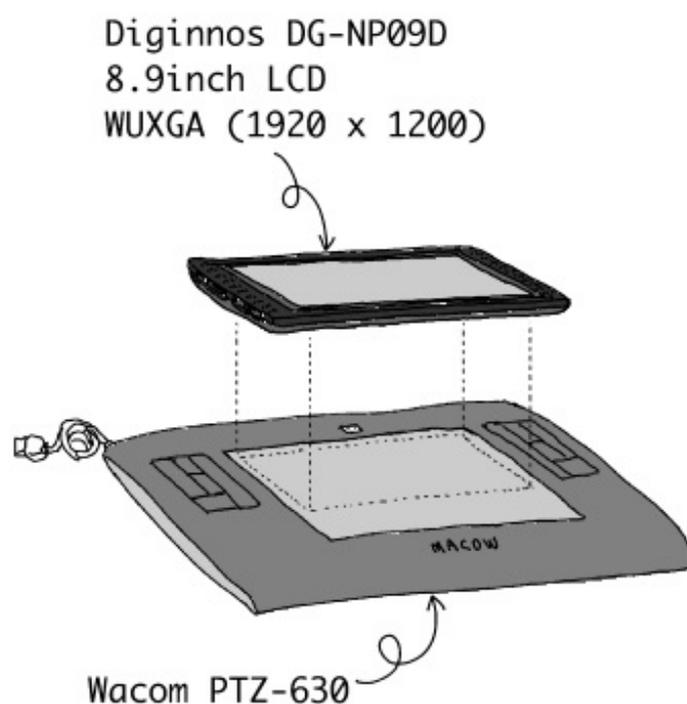
作 SATOTOMO

退役板タブを液タブ化できるか？



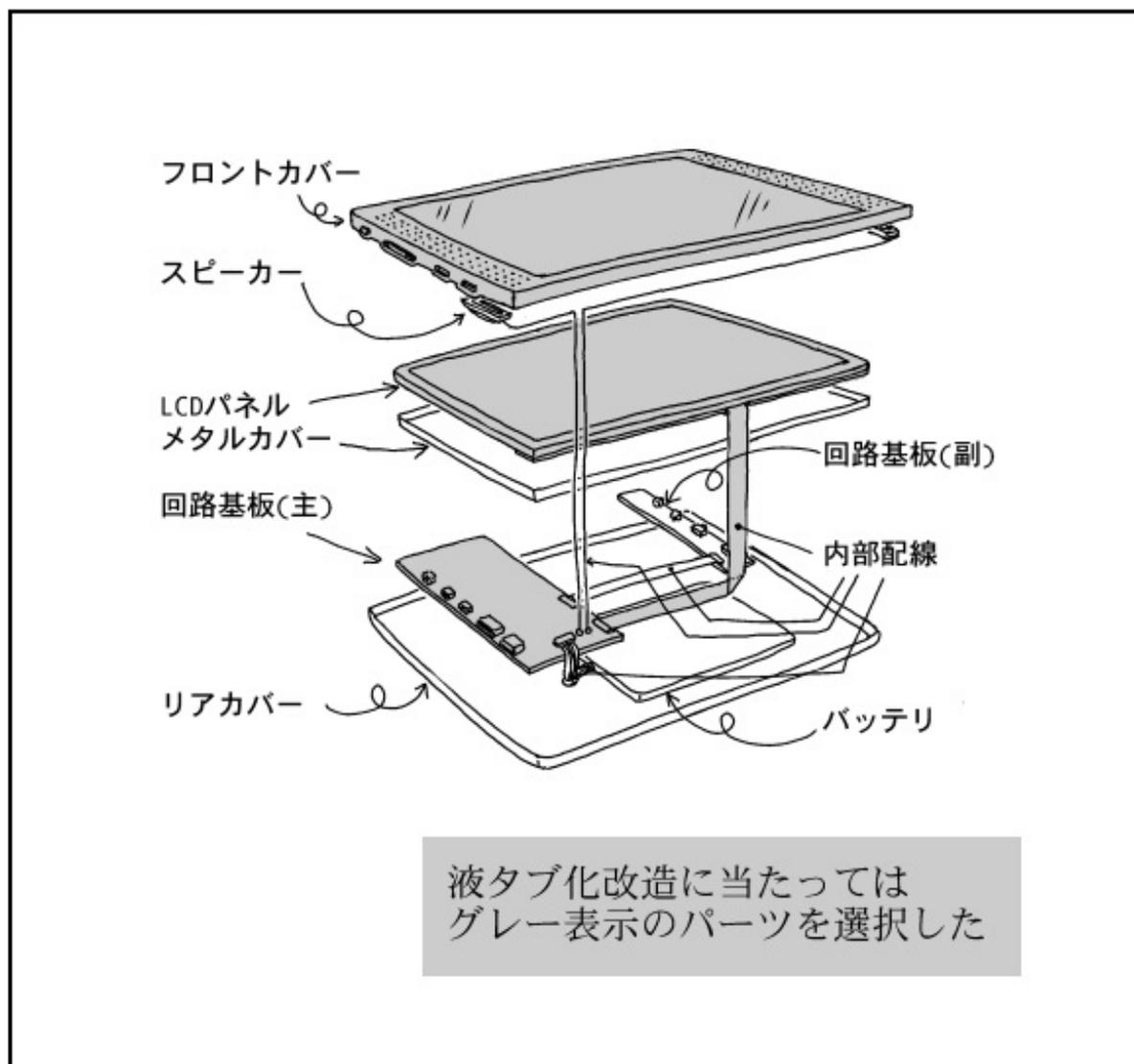
世の中には市販の液晶モニタと板タブを組み合わせ、液タブを独自に制作する「Cintiq DIY」というものがあるらしい。液タブの快適さを知った今、退役状態の板タブにこの改造を施すことを試してみた。

板タブと組み合わせる液晶モニタの選択



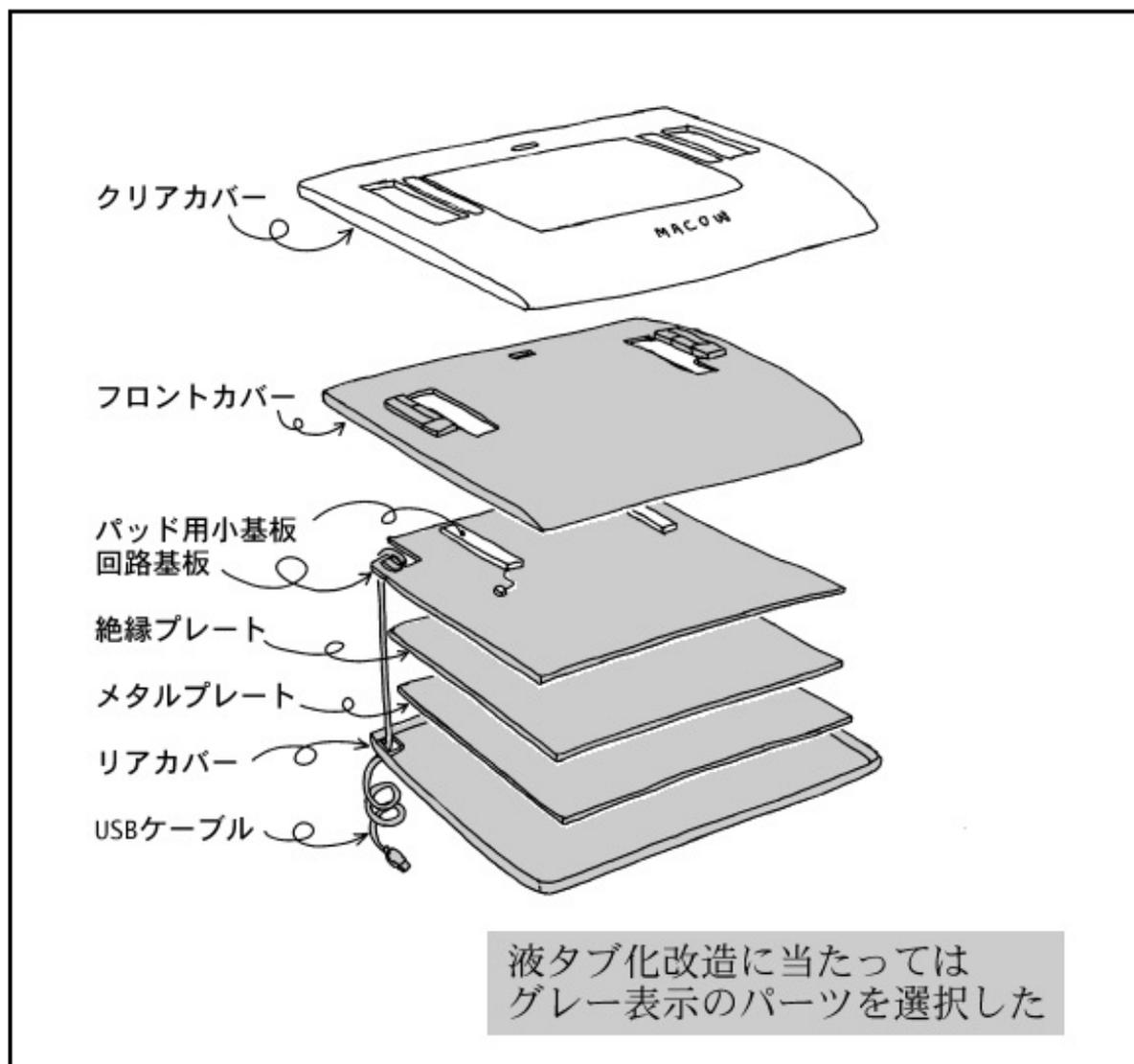
A5で4:3の長方形の作業領域を持つIntuos3(PTZ-630)これに寸法が合うのは小型モバイル用途モニタになる分解することを考えると安価、表示領域には拘りたいということでDG-NP09D(Diginnos製)を購入した。

モニタ分解、構成パーツ取捨選択



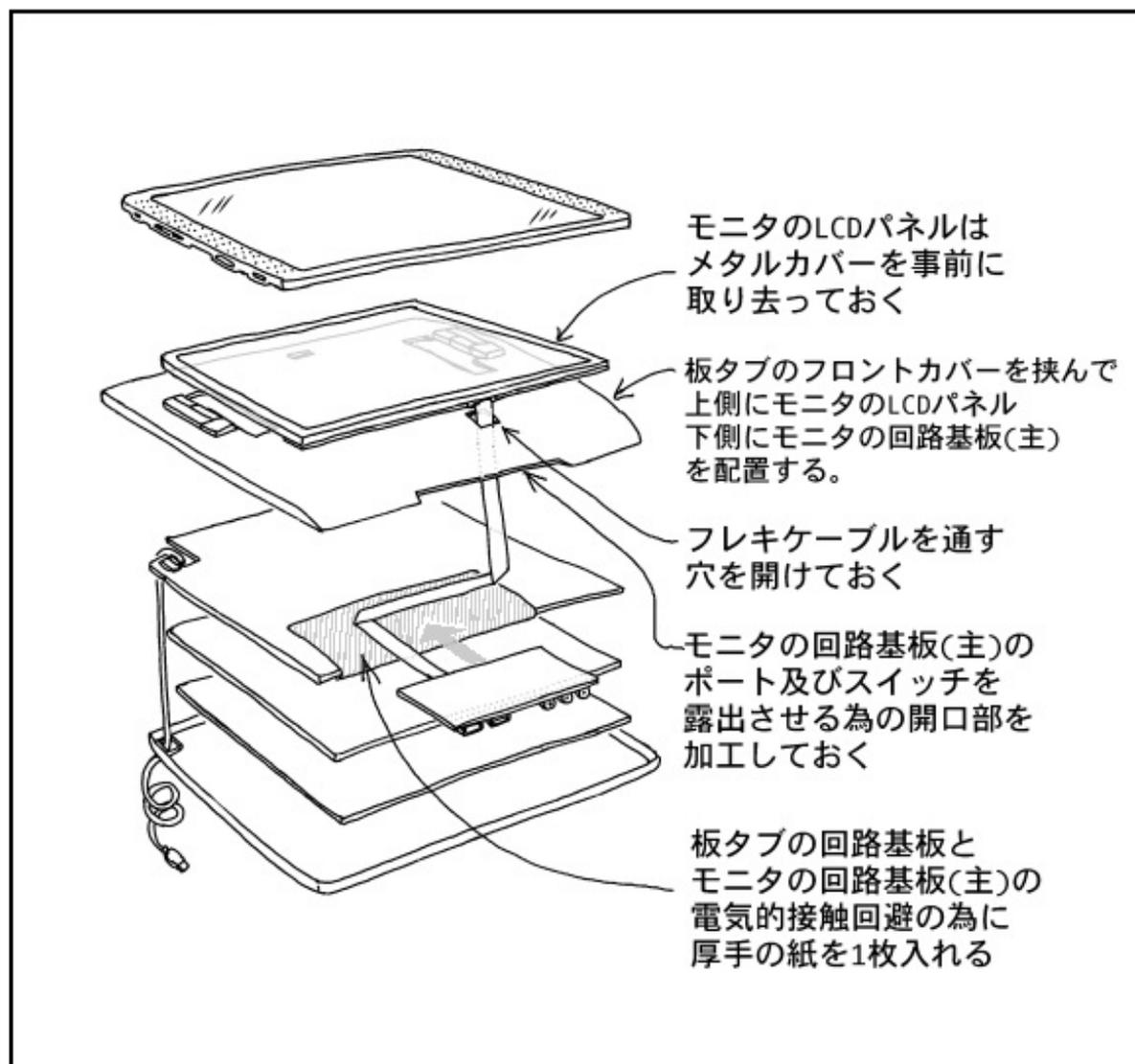
- モニタを分解して確認できた内装部品は下記の通り。
- (1) フロントカバーに接して配置されたLCDパネル
 - (2) リアカバーに接して配置された薄型バッテリー
 - (3) 側面にポート、スイッチ機能を提供する回路基板
 - (4) 内部配線用のフレキケーブル

板タブ分解、構成パーツ取捨選択



- 板タブを分解して確認できた内装部品は下記の通り。
- (1) クリアカバー, フロントカバー(両面テープにより接着)
 - (2) パッド用小基板2個と回路基板
 - (3) リアカバーに接して配置された絶縁, メタルプレート

選択パーツから液タブを構成する



板タブのフロントカバーに追加工をすることと
2枚の基板間の電氣的接触を防ぐ為の厚手の紙を
用意しておくことがひと手間必要なところである。

完成した自作液タブの外観



液タブのスペック概要

表示領域 : 9インチ WUXGA(1920x1200pixel)

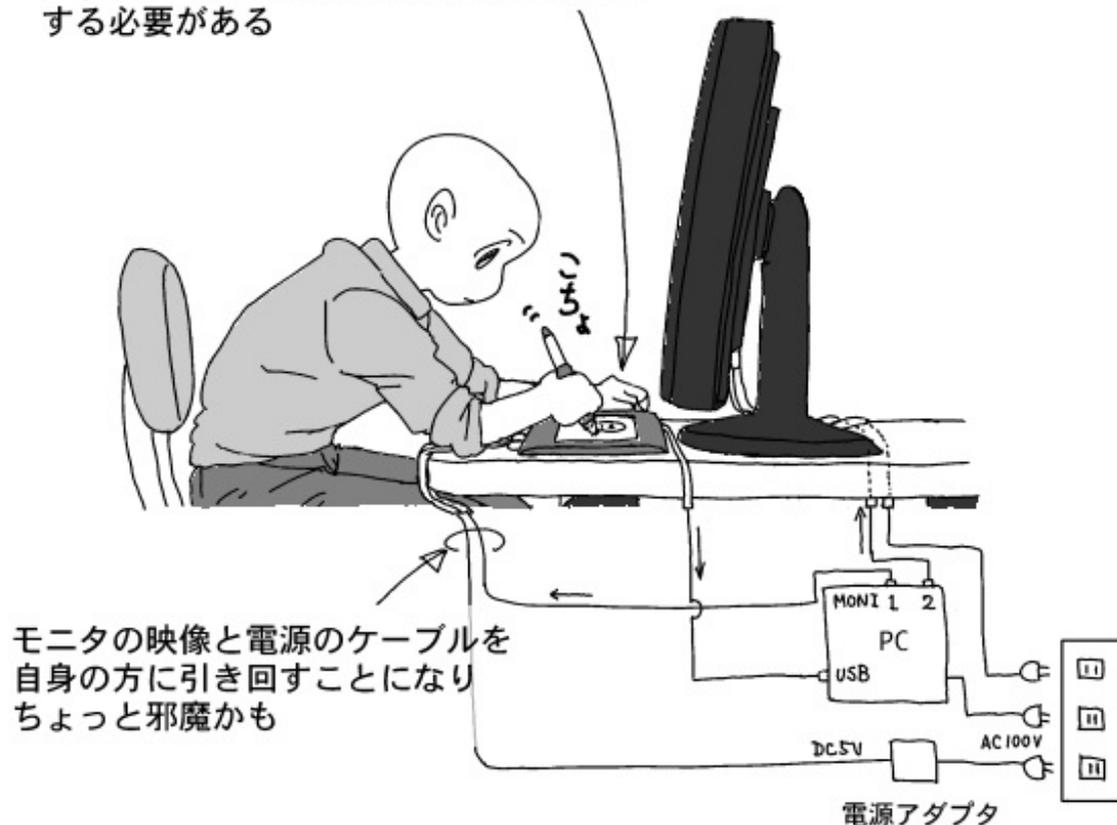
映像入力 : MiniHDMI

モニタ電源入力 : MicroUSB

デジタイザ出力 : USB(デジタイザ電源もバスパワー供給)

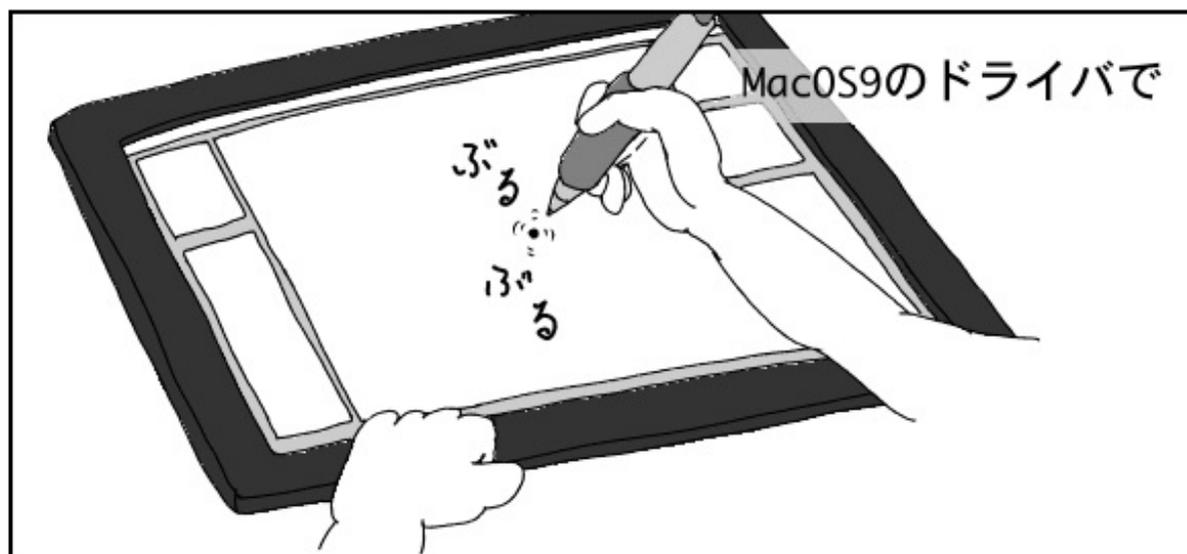
使用感を確認してみました

小さなストロークで描画ができる一方で
ドットレベルでの確認には、拡大表示を
する必要がある



コンパクトながら高精細(WUXGA)画面環境の液タブと
いうことで、小ストロークで手・腕への負担が減った。
モニタの画質は分解の為と思われる品質劣化を生じて
しまい、目への負担は大きいかなと感じた。

ドライバソフトについて気付いたこと



動作はPowerMacG4のOS9とOSXで確認してみたのだけれど
両方でポインタの振動現象の差異が見られた。
Intuos3専用のOS9ドライバでポインタの微細振動が発生。
一方で、Cintiqと共用のOSXドライバでは振動がなかった。
液晶要因のノイズ対策が後者には施されている様だ。

デジ絵制作快適化計画番外編
Intuos 3 Custom

作者 SATOTOMO

E-mail BXJ05041@nifty.com

URL <http://satotomo.la.coocan.jp>

2018年7月14日

本書の一部または全部を無断で
複製することは禁止します。

デジ絵制作快適化計画番外編 Intuos3 Custam

<http://p.booklog.jp/book/122995>

著者 : SATOTOMO

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/satotomoyuki/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/122995>

電子書籍プラットフォーム : パプー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社トゥ・ディファクト